

国際サーカス村通信	VOL.14 NO07	2010年5月17日(月)
		文責 西田 敬一
編集NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688	mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net	

●『勝ってたまるか剣振丸』の今後の予定

と、いかにも今後の公演活動が継続しそうですが、実は、そうではありません。ただ、8月28日(土)、高松市のサンポートホール高松の小ホールでの公演は決定しています。この公演は、瀬戸内国際芸術祭の一環に組み込まれているものです。花田清輝著『小説平家』を素材に、サーカス学校の生徒たちの作品だということに注目してもらい、取り上げてもらうことができました。乞うご期待というところですが、なにせ、夏休み中の高松での公演なので、皆様、ぜひお越しくださいというわけにもいきません。

で、なぜ“今後の予定”などを見出しをつけたかといえ、これは、実現するかどうか分かりませんが、あるところから、ぼくらの活動に注目するという話を聞くことができたからです。

それは、韓国から来日した、全羅南道・木浦市で、今年10周年記念となる『全国優秀マダン劇祭典』の芸術監督の孫在六(ソンゼオ)さんの話です。ソンさんは、4月24、25日に行なわれた“野毛大道芸”を視察に訪れたのですが、この機会に、サーカス・アーティスト、大道芸パフォーマーのプロデュースを行っているぼくらに会って情報収集したいということだったので、いろいろと話をしていく内に、『勝ってたまるか剣振丸』の公演に触れて、サーカス学校の説明をしたところ、そうした活動をしているのであれば、自分たちが目指している活動とも連動するのではないか、については、この機会に訪韓しないかということになったのです。

ただ、実際に訪韓し、『～剣振丸』を公演するとなると、出演人数も多いので、すぐには決められないので、孫さんが帰国して、祭典の実行委員会にかけ合うということになった次第なのです。

この会報が皆様のお手元に届く頃には、結論がでていると思いますが、その結果がどうあれ、ぼくらの活動は、文化・芸術活動を行っている人々に、ある種の共感を持って受け止められていること。これはとても意味のあることではないでしょうか。

ちゃんとした演劇作品を作りたいが、稽古場がない、稽古時間が足りないというようなことをよく聞きます。ぼくらの活動、サーカス学校での活動は、作品をつくることよりも、まず、サーカスや大道芸を行いたい人の身体づくりに重点があります。そして、その4年間という身体づくりの過程で、それぞれの生徒たちが体力、技術ばかりではなくそれなりの人格を身につけてくるのではないかと思います。もちろん、その、身につけてくる人格はさまざま、共同で作品作りができるようなものもあれば、そういうものに不向きなものもあります。それはそれでいいのであって、演劇作品のように共同で作品を作ることを目的にスタートしているのではないので、当然のことと言えるでしょう。

にも関わらず、なんとかサーカス学校の生徒たちと外部から参加してくれた人々の参加を得て、作り上げた作品や、それが作られた環境、プロセスに、同じように文化・芸術を志す人が共感してくれるということは、実に大切なことだと思います。

ぼくらの活動は、ある意味では、常にゼロからです。というのは、サーカス学校というのは、新入生が入ってきて卒業生となって出ていきます。いつも新たに入ってくる生徒と一緒にあってお互いに成長していくことが基本であり、時には、そこから作品が生まれてくるということなのです。まずは、この基本をしっかりと認識しておきたいと思います。

もしも、韓国公演が実現すれば、カンボジアに続いて、韓国とも文化交流ができることになります。こうした交流を通して、それらが、サーカス学校の生徒たちの人格と技術習得の大きな糧になればと思わざるをえません。そればかりではなく、ぼくらにとっても、こうした活動によって、無数にある文化・芸術活動がなにを目指し、何を目的にしているかを見極めていく視座形成に役立つに違いありません。

●GWに私が見たサーカス学校生徒の大道芸

《5月2日(日) 10:00/12:00 「田園プラザかわば」にて目黒有沙と谷口界》

会場の「田園プラザかわば」は『関東好きな道の駅』に5年連続第一位に輝くほどの人気スポットとあって、お食事処以外にもブルーベリー公園やミルク工房、ミート工房など体験型の施設も多く、道中に立ち寄る人はもちろんですが、この場所を目的にやって来てのんびり楽しんでいるお客さんも多かったです。中央広場の芝生の上で、1日3回のパフォーマンス。



目黒有沙さんは得意のコントーションを、谷口界君は、発表会や舞台で行っているチェアアクロバットの他に、ボールジャグリング、バルーン、ディアボロ、シガーボックス、デビルスティックと、大道芸出身というだけあって、オールマイティなパフォーマンスを滑らかなおしゃべりでつなぎ、ふたりで約40分ほどのショーを作り上げていました。ラストはふたりのコンビネーション技、ハンドトゥハンドを

披露して、たくさんの拍手に包まれ終了。ラストの技は、今回この場で披露するために、2週間猛特訓をして作り上げたそうです。哀しさや悩ましさを連想させるようなストーリー仕立ての番組でした。

《5月5日(水) 11:00/13:00 田園プラザかわばにて飯田有美子と末廣祥久》



飯田有美子さんは四角い台を使ったアクロバット・バランス芸とバトンを、末廣祥久君はボールジャグリング、そしてディアボロ、バルーン、シガーボックス、椅子倒立、それにゴム手袋を頭にかぶり、鼻息で膨らませて割るという荒業も披露。30分のパフォーマンス後は、仮設テントの下でディアボロ体験教室やバルーンプレゼントを行っており、ちびっこたちは大喜びでした。

生徒のみんなが、大道芸の経験が有る無しに関わらず、どうやったらお客さんをもっと楽しませることができるか、大きな拍手がも

らえるか、一回パフォーマンスが終わるたび、真剣な面持ちで反省会を開いていたのが印象的でした。また、普段は練習している様子しか見たことがなかったみんなが、大勢のお客さん相手に身ひとつでお金を稼ぎ、生活の糧にしている様子を目の当たりにして、たくましさも感じました。これから夏本番、日射病に倒れないように、ますます頑張ってくださいとエールを送ります。

この他の日では、5月1日にデュオ・アビマノーラ（天野真志とオーリャ）、5月3日に斎藤英祐と栄原麻衣がパフォーマンスをしました。（長屋歩未）

●ワールドオートバイサーカス

《5月3日（月）弘前さくら祭りにて ワールドオートバイサーカス》



垂直に建てられた大きな木製の樽の内側を、一台のバイクがスピードをつけてぐるぐる走る樽のオートバイサーカスを観てきました。まず、オートバイが走り出した瞬間からぐらぐらと振動する樽と足場に興奮を覚えました。地面に斜めに立てかけてあるすのこ（どぶ板というそうです）を一周すると、すぐに垂直に駆け回り始めます。スタッフは、ライダー1名とアシスタントが1名の計2名。お客は、建物でいえば2階部分の樽のへりから覗きこむようにして見るのですが、オートバイがこのへりギリギリまで上がってきたり、チップ（千円札）をへりから差し出す客の手から直接受け取ったり、受け取ったお札を顔面にはりつけて目隠し運転をしたり、両手を離したり、立ちあがったり

と様々なパフォーマンスを見せてくれました。時間にして約5分。

なんでも、日本で唯一の樽オートバイサーカスは、球型のアイアンホールよりも難易度が高いのだとか。お客が差し出す札を何度か取り損ねているのを見て、改めて、難しい技なんだと実感しました。手を伸ばしたら触れられるほど近くで、タネも仕掛けもない危険な演技は、大迫力でした。

私は2回続けて見たのですが、ライダーが表でちょっとしたパフォーマンスをして客寄せ、客が大方集まったら中に入ってパフォーマンス、パフォーマンスが終わり次第また表へ出て客寄せ・・・と、ひっきりなしに動いていたのも忘れられません。

大人 700 円、中学生まで 500 円。東北や北海道を中心に興行しているそうです。（長屋歩未）



最新サーカス公演情報

★木下大サーカス

●名古屋公演 2010年3月13日(土)～2010年5月31日(月)

休演日; 5月19日(水)と毎週木曜日

会場;名古屋市中区栄 白川公園 特設会場 電話; 052-231-0045

●岡山公演 2010年6月19日(土)～2010年8月31日(火)

休演日; 6月23日(水)、7月21日(水)、8月18日(水)と毎週木曜日

会場;岡山市北区 JR 北長瀬駅前 岡山操車場跡地ひろば 特設会場

電話; 086-232-0045(6/11 まで) / 086-242-0045(6/11 から)

★キグレサーカス

●青森公演 2010年5月29日(土)～2010年7月19日(月・祝)

休演日; 毎週金曜日

会場;青い森セントラルパーク(青森県)

電話;東奥日報社事業部 017-739-1111

★ポップサーカス

●山口公演 2010年4月24日(土)～2010年6月13日(日)

休演日;毎週水曜日。毎週金曜・土曜ナイターショー開催。

会場;おのだサンパーク特設大テント会場 電話;0836-81-5060

●石川公演 2010年6月26日(土)～2010年8月22日(日)

休演日;毎週火曜日。6/26(土)は 13:00 公演、19:00 公演の 2 回公演。

毎週金曜・土曜ナイターショー開催。

会場;コンフォモール内灘特設大テント会場(内灘海水浴場隣)

電話; 076-240-1715(6/21 まで)/076-208-2800(6/22 から)

★ シルク・ドウ・ソレイユ「CORTEO コルテオ」

●仙台公演 2010年4月21日(水)～2010年6月6日(日)

会場;仙台・新ビッグトップ(あすと長町)

休演日;毎週木曜日、5/19(水)

電話;ダイハツコルテオ仙台公演チケットセンター 022-217-7788

★グレイト イリュージョン サーカス

摩訶不思議なイリュージョンと、卓越した演技が光るサーカス芸の融合エンターテイメント。

現代にタイムスリップした原始人たちが起こす数々の奇跡は見逃せない!

2010年3月20日(土)～6月27日(日)

平日①11:30②14:00、土日祝①11:00②13:00③15:00(約40分)

会場;野外民族博物館リトルワールド 野外ホール(サーカスは入館料のみでご覧いただけます)

休演日;毎週火曜日 電話;野外民族博物館リトルワールド 0568-62-5611

★世界初！ロシアン・マジック「桃太郎伝説」

おとぎばなし「桃太郎」のストーリーに合わせ、物語のキャラクターが登場し、
驚きと笑いと学びのパフォーマンスを繰り広げます。

●2010年3月20日(土)～6月20日(日)

●平日①11:30②13:30、土日祝①11:00②13:00③15:00(約30分)

※5/16(日)は11:00～の1回公演①11:00、5/29(土)2回公演①13:00②15:00

●会場；日本モンキーパーク オープンステージ(入館料のみでご覧いただけます)

●休演日；毎週水曜日 ●電話；日本モンキーパーク 0568-61-0870

★シアターレストラン『ルナ・レガーロ』

一流シェフによる“月”をイメージした限定料理、世界最高峰のパフォーマンスと、
映像が織り成す新しいエンタテインメントの世界。

◎本公演 2010年6月1日(火)～8月1日(日)

①12:00②17:30③18:30 日によって開演時間が異なりますので、詳しくはインフォメーションデスク
にお問い合わせいただくか、公式HPをご覧ください。

会場；日比谷パティオ特設会場

休演日；毎週月曜日と7月13日(火)、7月20日。但し、7月19日(月・祝)は公演あり。

電話；インフォメーションデスク 0570-02-9912

その他公演情報

★『ダメじゃん小出の黒く塗り! Vol.11』

■日々のニュースを題材にした寓話仕立てのコントやトーク、そして
世間の素朴な疑問を独自の視点で切り込んだ取材報告など、シュ
ルな笑いをぜひお楽しみください。

■2010年5月28日(金)19:00

■会場；横浜にぎわい座小ホール(のげシャール)

■電話；横浜にぎわい座 045-231-2515

★ダメじゃん小出ソロライブ『負け犬の遠吠え』

■2010年6月18日(金)19:30

19日(土)14:00/18:00

■会場；銀座みゆき館劇場

■電話；スタジオエッグス 03-5875-4818

★パントマイムウィーク5 “劇場で見るパントマイム” 3つのプログラム

■2010年6月17日(木)～27日(日) ■会場；MAKOTOシアター銀座

■電話；マイムリンク事務局 080-3345-4028 ※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

・ソロ公演「ソロマイムギャラリー」

■2010年6月17日(木)、18日(金)19:00開演

■出演；あらい汎・いいむろなおき

・親子向け公演「ドキドキわくわく♪マイム」

■2010年6月19日(土)11:00/15:00/18:00

20日(日)11:00/15:00

■出演；島 留美、エディー、高橋素子、リオ、
プチパルー(細川絃未・阿部邦子・平光司)

・松田充博企画「スクラブ's assort GALA」

■2010年6月25日(金)19:00、26日(土)15:00/19:00、27日(日)14:00/18:00

■出演；細川絃未、JIDAI、林 佳、たかくわみえ、奥田 翔

★特別企画公演花形演芸会スペシャル

～受賞者の会～

■6月特別企画公演は『花形演芸会スペシャル』と題した、平成21年度花形演芸大賞各賞の受賞者を一堂に集めた豪華な公演です。

■出演者; ストレート松浦、三遊亭兼好、桃月庵白酒、柳亭燕路、ふくろこうじ、柳家三三

■会場; 国立演芸場 ■2010年6月26日(土)13時

■電話; 国立劇場チケットセンター-0570-07-9900

★昼下がりの冗事 Vol.8

■日曜日の昼下がり数を数倍楽しくするエンターテイメント・ライブが、Vol.5から連続ドラマ仕立ての新しい趣向でさらにグレードアップしています。

■2010年6月27日(日)正午より(開場午前11時30分)

■会場; 渋谷 O-nest

■電話; 03-3403-0561(ACC)

★チーフホフ生誕 150年記念『第9回シアターX (カイ)国際舞台芸術祭 IDTF』

■シアターX (カイ)国際舞台芸術祭(IDTF)は、1994年から隔年で開催しています。チーフホフ生誕150年の今年のメイン・テーマは『チーフホフの鍵』。ロシア、アメリカ、韓国、日本の演劇作品、落語や浪曲によるチーフホフなどが6月1～10日まで連日上演、その後7月4日までは24団体のダンス、舞踏、パフォーマンスと多岐に渡ってチーフホフに取り組んだ作品が繰り広げられます。

■2010年6月1日(火)～7月4日(日) ■劇場; 東京・両国シアターX ■電話; シアターX (カイ) 03-5624-1181

■6月29日(火)ダメじゃん小出出演! 『さかな sakana』19:30開演

★バーバラ村田のよるベナイト

■初の主催イベント。豪華ゲストを迎えての壮行パーティ in 銀座。

笑いあり涙ありコラボありプレゼントあり、バーバラ村田が八面六臂の大サービス。

問答無用来なきやソソソ踊るわシャンソソソ饞別歓迎狂い咲き! 貧乏旅行に合いの手、いやさ愛の手を!!

■2010年6月5日(土)19:00open、20:00start、23:00close

■会場; 銀座ブギウギ ■問い合わせ・予約; barbara_mmm@mac.com

★クラウン劇団 Andalive(アンドアライブ)旗揚げ公演『花O TRAVELER』

■2010年7月9日(金)19:00、10日(土)15:00/19:00、11日(日)14:00/18:00

■会場; シアターミラクル(西部新宿駅前) ■電話; 03-3403-0561(ACC)

※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。